

平成30年度各区活動概要

	西区	南区	北区	美原区
年間テーマ	・住み続けたいとなる西区になるために	地域理解のための啓発 情報整理と周知	『北区再発見・再構築』 ～ 指定相談支援事業所連絡会との連動～	地域とつながる自立支援協議会
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・運営会議 ・本会議 ・西区指定相談事業所交流会との意見交換会 ・西区指定相談事業所交流会との事例検討会 ・西区指定相談事業所交流会から活動報告。 ・高齢者関係者会議との交流会（共催研修） ～お互いの制度を知ろう～ ・民生委員との共催研修 ①作業所ネットワークエントランスバザーの見学②やさしい風見学＋意見交換会 ・（部会）ヘルパー交流会（世話人会の運営・発達障害についての研修） 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月第2水曜日開催 ・2つのワーキング「情報」「啓発」に分かれて実施 ・「情報グループ」は、事業所（生活介護、就労継続B型、就労移行）情報誌の作成 ・「啓発グループ」は、「こんな時はどうしたらいいか」「制度や仕組みを教えてください」といったことに対応するため、地域啓発の一環として「出前講座」を企画、今年度は、ちらしの作成、晴美台障害者ネットワークからの依頼で出前講座を実施。 ・事業所見学会（22名）、阪南病院を訪問。 ・南区ふれあいまつりに参加、「南区障害者自立支援協議会とは」の説明パネルを展示、防災イベントの写真の提示と非常食の配布、情報発信。 ・事業所交流会を実施、完成した情報誌を配布、協議会や相談連絡会メンバーとの交流を行う 	<p>偶数月：運営会議 奇数月：全体会議</p> <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高齢機関との交流会（7月） 「障害と高齢の支援を通して」 ～ケアマネと相談支援専門員とのスムーズな連携をするために～ （ケアマネ連絡会×指定相談事業所） ●支援機関の機能連携の共有ワーク（9月～1月） ＜ワークの目的＞ ①支援機関の役割や機能を再共有する。 ②支援の評価を可視化して納得値の高い共有を目指す。 ③ケースに関わるスタンスを拡充する。 ④主体性のあるチーム支援を実行するための基礎（ルール）を定着させる。 ＜方法＞ ・架空事例を元に、「機関整理シート」「支援整理シート」などのツールを使う。 ・検討→振り返りを行い、ツールや検討方法について意見交換。 <p>11月：北区交流まつり参加（市民啓発） 2月：年度振り返り</p>	<p>【会議運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●プロジェクト会議：美原区内関係機関を中心に①相談支援スキルアッププロジェクトに所属し、企画、取り組みを進める（毎月開催） ●運営会議：プロジェクト代表と事務局（毎月開催） ●全体会議：構成メンバー全体の会議（年3回） ●ニュースレター委員会（下半期数回程度） <p>①相談支援スキルアップ 相談支援スキルアップに向けた取り組み。 ・美原区内相談支援体制について →機関の役割等紹介、事例検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員交流会（1/23開催） <p>②障害理解・当事者場づくりP ・ド・レ・美原カフェ～障害のある方や家族、地域の皆さんが集うカフェ（第一回目7/25開催、第二回目3/16開催予定）第二回目から相談Pと合同企画。 ・すこやかフェスタ（地域のまつり）に参加し障害理解啓発。当事者ボランティアを募集し協働。（10/27開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ド・レ・美原カマルシェ（授産製品販売会）運営。（毎月第三水曜日開催） <p>③ニュースレター委員会 第二号「美原区自立支援協議会だより」発行</p>
その他（成果物等）	社会資源集の更新	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所（生活介護、就労継続B型、就労移行）情報誌の作成 ・地域啓発の一環として「出前講座」を企画、今年度は、ちらしの作成 		・美原区障害者自立支援協議会だより発行